

飲み忘れ・飲み過ぎ・飲み間違いを予防します！

薬局様と服薬支援ロボによる 服薬支援サービスのご提案



ケアボット株式会社

服薬支援ロボ（図解）

約320mm



服薬支援ロボ（本体）



ピルケース28ヶ
（1週間分）



カセット4種
（1週間分）

（付属品 1セット分）

機能 ～5つのポイントで服薬支援～

Point 1

時間になると画面と音声で知らせします。

飲み忘れの予防

Point 3

何度押しても時間外は出ません。

飲み過ぎの予防

※取り出し有効時間 1～5時間

Point 5

認知症の方、または支援が必要な方の服薬を手助けします。
(これから服薬カレンダーをお使いになられる方におススメです。)

Point 2

正しい薬が取り出せます。

誤薬の予防

Point 4

最大4週間分まで記録取り出し可能。

服薬履歴のデータ管理



新しい機能



新たにカレンダー機能を追加
日付での設定が可能に



空ピルケース収納を追加



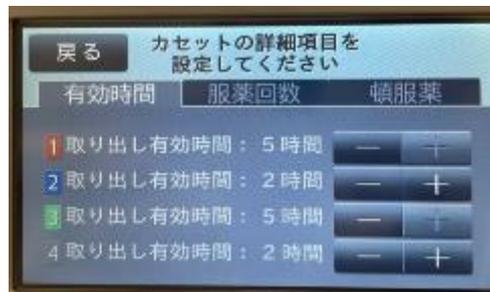
カセット一括交換で
作業効率もアップ



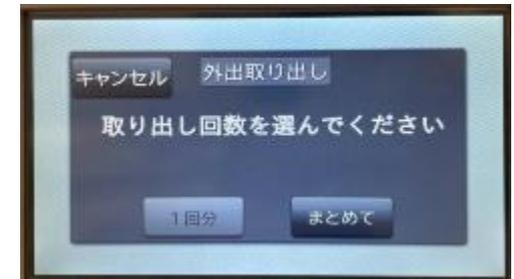
時間表記 12時間モード
24時間モード
日付・時刻のメモリー機能
※未通電でも日付・時刻は狂いません



曜日設定することにより
音声案内しない曜日を設定できます。



設定時間ごとに取出し有効時間
の設定が可能です。



外出取出しが複数回可能
※複数取出しにはパスワードが必要です

メリット

患者様、ケアマネ、ドクター、看護師、のニーズに応える薬局として

- 1.服薬支援ロボを使った服薬支援のサービスにより飲み忘れ、薬の飲み間違い、飲み過ぎが減る事でお客様の**服薬状況を改善します。**
 - 2.これによりお客様の状態を管理する医師や薬剤師、ケアマネジャー、訪問介護看護師が**服薬をより正確に管理・支援**しやすくなるため、服薬支援ロボの勉強会等を地域ケアマネなどにすることで**服薬支援ロボを扱う薬局様に訪問患者の紹介が出る**ようになります。
 - 3.そして訪問実績がない薬局様はロボで訪問患者を獲得すれば**報酬改定後の地域支援体制加算を取るための大きなハードルの一つを解消できます。**
 - 4.事前に薬局内でピルケースを付ける作業時に再度、**薬の監査を行うことが出来るので、今よりも薬剤師のミスを少なくする**ことが出来ます。
 - 5.現場ではカセット交換を行うだけになるため、**現場での作業時間が短縮**され、在宅や施設の現場の職員と話す時間が増ますので、これまでよりも**服薬指導や情報共有を行う時間の余裕が生まれます。**
- ※ 地域包括化で今後増々多くなる訪問患者を獲得するには今が好機と言えます。
(実際に地域の薬局様から多数お問い合わせを受けています)

**居宅療養管理指導も患者様へ説明しやすくなり、
訪問を初めて行う薬剤師様にも最適です。**

ケアマネジャー、施設への勉強会の 営業ツールとして役立ちます！

訪問患者の獲得といっても、なかなか営業のきっかけをつかむのは大変だと思います。

そんなところに服薬支援ロボがあれば、その即効性に
介護事業者側は大いに目を引かれるでしょう。

勉強会でのコンテンツとして、多くの薬剤師の方々がご活用されています！



地域の在宅訪問獲得のための 案内パンフ、FAXチラシも 差し上げます！（営業にご活用下さい）

お薬の飲み過ぎ、飲み忘れ、飲み間違いの予防に

服薬支援サービスのご案内

薬局が無料でご自宅へ
レンタルします♪
(お薬のセットも行います)



介護現場に受け入れられる
ための工夫
そしてシンプルな操作性、
ミスを無くするための工夫が
なされています！

声でお薬のお知らせ
をいたします♪

服薬支援ロボ

■ 服薬支援ロボの役割り

その1：くすりの飲み過ぎ予防

誤った時間帯にボタンを押しても「お薬の時間ではありません」とお知らせしてくれます。これにより時間帯の間違いや、過剰な量の服用を防ぎます。

その2：くすりの飲み忘れ予防

5分前から薬の時間帯を音声案内と画面表示でお知らせします！これにより飲み忘れを防止し、決められた時間帯に薬を飲むことが出来ます。

その3：くすりの飲み間違い予防

セットした薬だけが出てきます！これにより薬の間違いを防止し、予めセットした薬だけを飲むことが出来ます。

薬局が施設へ
レンタルします♪
(お薬のセットの手
が省けます！)



※居宅療養管理指導の介護保険サービス
利用が必要です。
地域によってはご利用いただけない場合
があります。詳細は直接お尋ねください。

■ サービスをご使用頂いたお客様の声

- ・毎晩翌日のお薬の準備を30分～1時間ほど作業していましたが、薬局が入居者様のお薬を時間帯ごとにセットしてくれるので大変助かります。(グループホーム管理者)
- ・入居者様へはロボから出て来る薬を渡すだけになったので誤薬の心配が減り、お客様へ安全な服薬介助が出来る様になりました。(グループホームスタッフ)

※セントケアグループ調査結果

▼ご興味御座いましたらお気軽にお問い合わせ下さい。

販売元：(セントケアグループ) ケアポット株式会社 東京都中央区八丁堀2-19-6 ヤスカ八丁ビル1F

介護会社が開発! 薬局から「服薬支援ロボ」 レンタルのご案内

- ・在宅、施設にて自分で服薬の管理を行うことが難しい方、ご家族を始めとしてケアマネジャー、看護師の方々も様々な工夫をされていると思います。この服薬支援ロボはそのような方々の手助けとなります。服薬支援ロボの取扱い薬局のご紹介および導入までのお手伝いもさせていただきます。
- ・高齢者の方、認知症の方が服薬される為の工夫も取り入れられています



取扱い薬局が無料でご自宅、施設へレンタルします！
(お薬のセットも行います)

※居宅療養管理指導の介護保険サービス利用が必要です。地域によってはご利用頂けない場合があります。取扱い薬局や地域等は下記へ直接お尋ねください。

TEL:

会社住所:

ケアマネ他営業用パンフ(表)

ケアマネ他営業用パンフ(裏)

ケアマネへのFAX用パンフ

使用中の写真（在宅系）



在宅

サ高住



お薬量目安



ピルケース



お薬BOX

使用中の写真（施設在宅系）



個室型（サ高住住宅型 在宅）

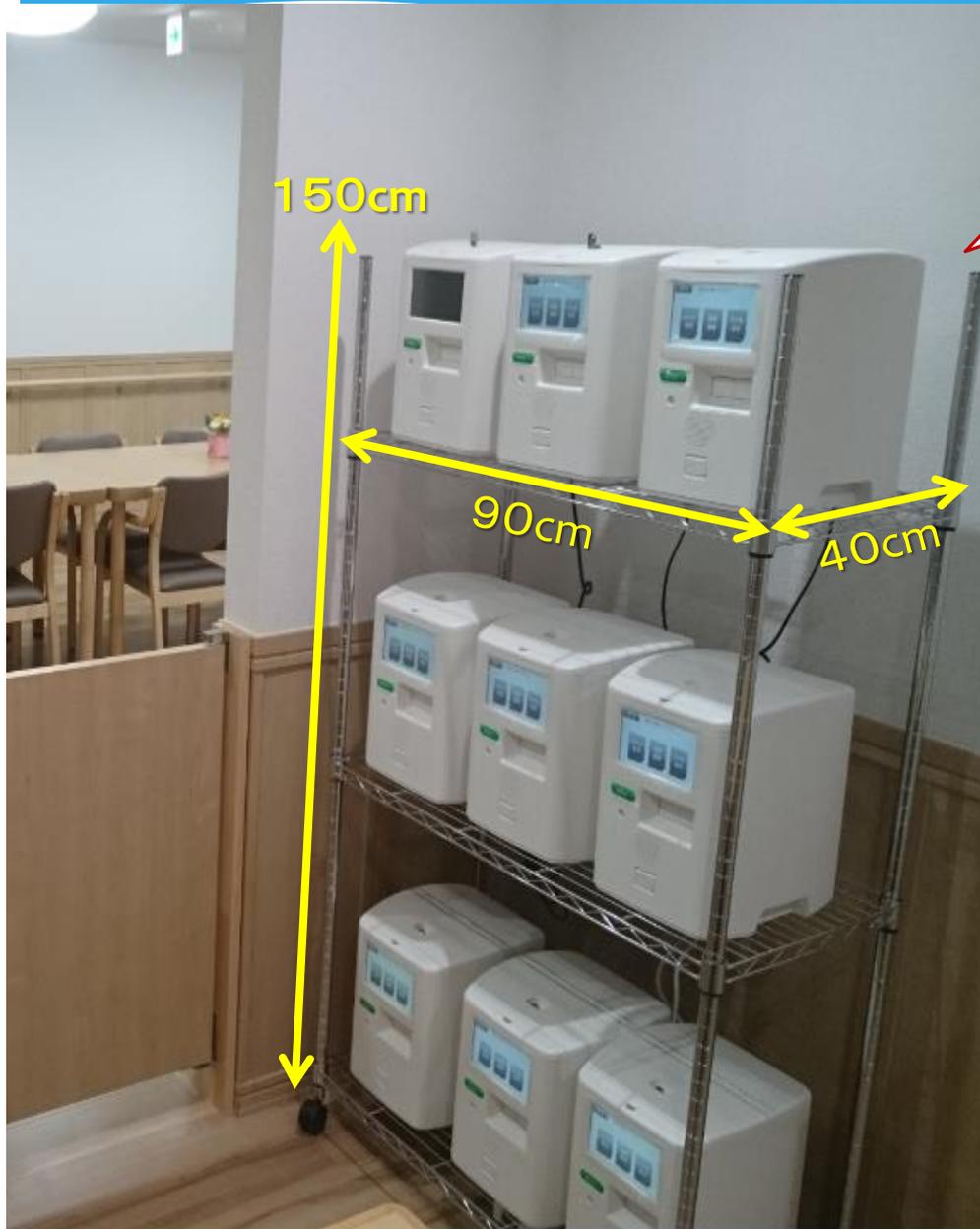


移動タイプ（集中型）



集中型

使用中の写真（施設系①）



（例）用意した棚にロボ9台を設置します。後ろに電源タップを使い、電源を供給しています。

ピルケースの中に一包化のまま1回分の薬が入っている。
※一包化の袋と漢方薬が2袋くらい入ります。



使用中の写真（施設系②）



50床介護施設
(ユニット型特養)



60床有料老人ホーム
(服薬部屋設定タイプ)



50床住宅型有料老人
ホーム

モニター調査事例（在宅編）

【プロフィール】

訪問看護ご利用者様 U様 76歳男性、認知症自立度Ⅰ、ご自宅にて一人暮らし

【導入経緯】

訪問看護師が週1回服薬カレンダーにセットをしていたが、週に1～2回飲み忘れがあった。腎不全のため確実な服薬管理と、独居ということもあり認知機能が保持されている間に服薬管理方法の変更を行いたかったため、今回の導入に至った。

【成果】

導入前は週に1～2回飲み忘れていたが、導入後は全く飲み忘れがなくなり、服薬に対するご本人様の意識も上がった。

【お客様の声】

「「お薬の時間です」と声を出して知らせてくれるので、うっかり飲み忘れることがなくなった。薬をきちんと飲もうという気持ちになります。今では“もしこのロボットがなくなると、さみしい”とも感じます。我々高齢者を助けてくれる良い機械だと思う。沢山の方に使ってみてほしい。」とのこと。

【訪問看護師の声】

以前は週1～2回はあった飲み忘れが、服薬支援ロボ導入後はほぼなくなった。服薬管理だけでなく、履歴画面で“取り出したかどうか”と、取り出した時間を確認することが出来るので、たとえば“朝は8時にご飯を食べる”“規則正しい生活をされている”など、お客様の生活リズムをつかむことが出来た。

モニター調査事例（施設編）

■ お客様（施設スタッフ）の声

- 毎日薬のセッティングをしていたが、薬局が各お客様の薬を時間帯ごとに全てセットするので、施設側はお客様の服薬に専念できて非常に助かります。
- またラック等の管理の時は、棚に薬剤師が時間帯ごとにセットしていても、結局棚から出すときは誰か人が行うので、看護師の方も気の休まる時がありませんでした。
- その点、服薬支援ロボはその時間帯の薬しか出てこないなので、属人的にならず安心です。誤薬の心配も軽減されました。
- 訪問による声掛けや電話での服薬支援をしていたが、ロボの活用で御入居者様やスタッフ双方の負担が減り、他のサービスが出来る様になった。
- お客様の服薬を支援することでご本人様の自立維持にも役立つ。
(お客様自身が個室でお使いの場合)

これまでの管理方法とロボを使った服薬介助（在宅）

これまでの管理

薬局でお薬を購入



お客様やご家族がお薬を購入するため、薬局に行きます。

ご家族による仕分け



ご家族により配薬準備を行うためセットの手間や時間がかかり、リスクが高まります。

お客様ご自身で服薬



飲み忘れや飲み間違い、飲み過ぎが心配。ご家族によるお声掛けの手間も。。

ロボを使った管理

処方箋を薬局にFAX



契約した薬局に処方箋をFAXで送付します。

薬局が薬をセット



FAXされた処方箋情報を基に薬剤師が訪問し薬のセットを行います。

ロボから取り出して服薬



服薬時間になると画面が光り、音声で流れるので飲み忘れ予防になります。

これまでの管理方法とロボを使った服薬管理（施設）

これまでの管理

薬局が薬をお届け



お客様毎のお薬をお届けします。

職員による仕分け

スタッフor看護師



限られた職員により配薬準備を行うためセットの手間や時間がかかります。※ここが誤薬リスクが高いポイント！

服薬介助



お客様の名前と薬袋の名前を確認し服薬介助を行います。

ロボを使った管理

薬局が薬をセット



薬の準備は全て薬剤師が行います。

ロボから薬の取り出し



薬がある方のみ画面が光り、音声流れるので分かりやすいです。

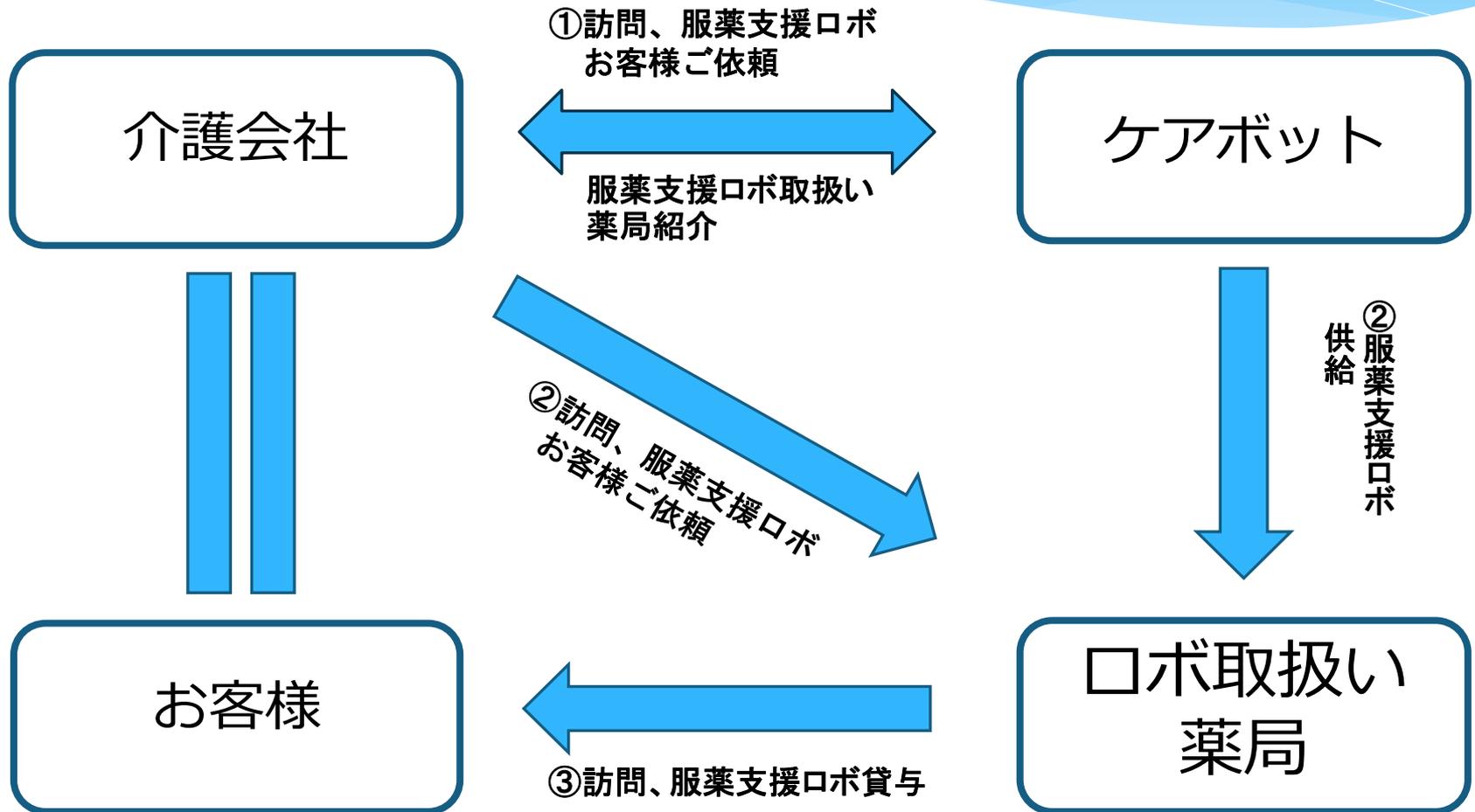
服薬介助

スタッフor看護師



お客様の名前と薬袋の名前を確認し服薬介助を行います。

服薬支援ロボご利用の流れ



会社概要

ケアボット株式会社（セントケアグループ）

設立 2,014年10月2日

資本金 5,000万円

事業内容 介護ロボット開発、販売

所在地 東京都中央区八丁堀2-19-6ヤサカ八丁堀ビル1階

TEL/FAX 03-6222-1062 / 03-5566-1107

セントケアグループは全国約870カ所の営業所を運営する介護サービス会社です。
そこで培った介護のノウハウや現場からのお客様の声を形にするために生まれた
介護ロボットの開発・販売会社です。

